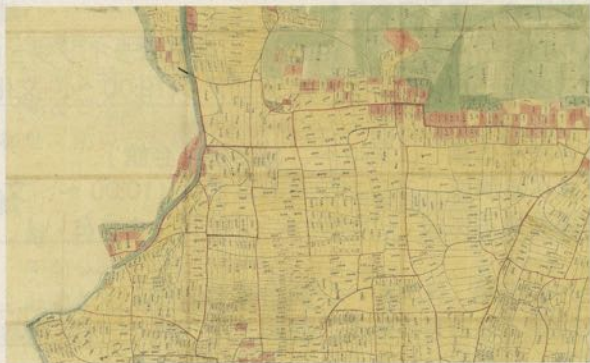


残る
消えゆく



関也辺り (加茂郡伊深村地籍図 明治初年)

せきや
「関也」のはなし

伊深小学校の西、「関也」という地名には、正眼寺を
開山した僧侶・関山かんざん むそう たいし無相大師にまつわる言い伝えがあり
ます。

1330年(元徳2年)ごろ、関山は都を離れ、伊深に
庵を結び修行をしていました。その数年後、花園法皇
の頼みにより都へ向かうことになりました。関山との
別れを惜しむ村人たちは関まで見送ろうとしましたが、
関山は「ここが関やと思いなさい」といって別れていっ
たところから「関也」と呼ばれるようになったと伝え
られています。

地名のはなし

六